

奈良先端大東京フォーラム 2018 企画運営等に係る企画提案書  
公募要領

1. 件名

「奈良先端大東京フォーラム 2018」の企画・運営及びマスメディアによる情報発信業務

2. 目的

本業務は、本学主催によるフォーラムを東京で開催することにより、主として産業界の関係者に最新の先端科学技術の動向や今後の展望、大学の使命等についての理解を深めてもらうとともに、フォーラムの開催を通じてマスメディアを活用した本学の特色や研究内容等の情報発信を行い、本学の全国的な認知度の向上を図るものである。

3. 業務内容及び基本仕様（以下を基準とし、具体的企画内容を提案すること）

(1) 「奈良先端大東京フォーラム 2018」（以下、「フォーラム」という。）の開催及びこれに付随する企画・運營業務

テ ー マ：「未来への挑戦」～人生 100 年時代のサイエンス～（仮）

内 容：我が国は、健康寿命が世界一の長寿社会を迎えており、今後さらに寿命が伸び、世界に先駆けて「超長寿社会」を迎えることが予想されている。このような人生 100 年時代において直面するであろう様々な社会的課題に対して科学技術がどう向き合うべきか、科学技術の在り方を見つめ直す。

プログラム：主催者挨拶、基調講演、特別講演及びパネルディスカッションから構成される。パネルディスカッションについてはテーマ設定を行うこと。

なお、上記のプログラム構成に関わらず、フォーラムのテーマについて参加者に理解を深めてもらうための最適なプログラムの提案を歓迎。（複数提案可）

また、プログラムを構成する際には、本学が平成 30 年度より実施する 1 研究科体制への移行後の教育プログラムの研究分野等を考慮すること。

対 象 者：①産業界関係者②企業・大学等研究者③学生④その他の一般市民等

地 域：東京都 23 区内

会 場：500 名程度収容できるホールとポスター展示スペースを有する施設。なお、開催日当日に利用可能であることを確認のうえ提案すること。

開催日程：平成 30 年 10 月～11 月の平日。

参 加 費：無料。ただし、事前予約により参加者数確保に努めるとともに、希望者多数の場合は抽選等により参加者を決定する。参加者へは参加券を事前送付する。

講 師 等：以下のとおり。なお、候補者を具体的に例示すること。（複数提案可）

①基調講演－講師：上記テーマに沿った内容について語る事ができる

著名で評判の高い有識者。

②特別講演－講師：上記テーマに沿った内容について語る事ができる  
著名で評判の高い有識者。

その他、必要に応じて適切な候補者を具体的に提案すること。(例：パネル  
ディスカッションのコーディネータなど。)

基調講演、特別講演その他プログラムの講師等は本学と協議のうえ決定す  
る。

運 営：会場設営、受付、資料配布、誘導、進行、アンケート回収、記録、出演者  
との連絡調整等

(2) フォーラムの開催案内・開催報告及び本学の特色・研究内容等のマスメディアを通  
じた効果的な広報による本学の全国的な認知度向上

内 容：①フォーラムの開催案内等を新聞、インターネットその他の広告手段を用  
いて発信し、集客効果を高める。(本学 HP に掲載するデザインの作成  
を含む)

②インターネット等によるフォーラムの予約申込受付業務を行う。

③フォーラムの開催報告を全国に発信し、社会への話題提供及び本学のイ  
メージアップを図る。

④上記①及び③を通じて本学の取組等について広報を行い、本学の全国的  
な知名度の向上を図る。

(3) 業務報告書の作成等事業成果のとりまとめ

内 容：フォーラム終了後、業務報告書、フォーラムの録画記録 (Blu-ray)、音声  
データ、テープ起こし原稿及び回収した参加者アンケートとその集計結果を  
提出すること。

#### 4. 実施期間

契約日～平成 30 年 12 月 31 日

#### 5. 予算上限額 (積算する際の目安とすること)

750 万円 (税込)